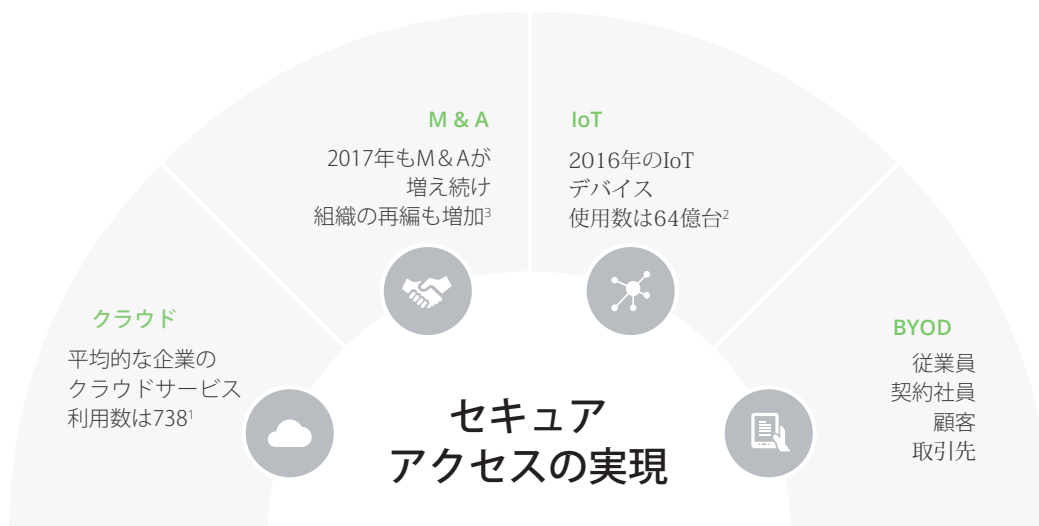


Pulse Profiler アセスメントレポート



企業ネットワークに接続しているエンドポイントの検出、識別、および監視

セキュアアクセスにおける課題



モバイル、クラウド、IoTなどの登場で、今日のデジタル時代はネットワークにおけるこれまでのベストプラクティスの原則が通用しなくなっています。24時間切れ目ないワークスタイルが求められる中、エンドユーザーのアクセスニーズが飛躍的に増大。仕事の範囲が広がることで、労働生産力も急速に変化しています。モバイルからクラウドまで、さまざまなメディアのデータやアプリケーションにアクセスできることが、これまでのITプロセスやポリシーにとって大きな課題になっています。パルスセキュアなら、統合されたセキュアアクセス・ソリューションを使用して、データセンターのセキュリティを確保しながら、モバイルアクセスを提供。新たなクラウドサービスを可能にします。取得も導入も管理も簡単です。

デジタル時代の課題



¹ SkyHigh Cloud Adoption and Risk Report

² Gartner - <http://www.gartner.com/newsroom/id/3165317>

³ <https://www.ft.com/content/0e9afdce-cdb6-11e6-b8ce-b9c03770f8b1>

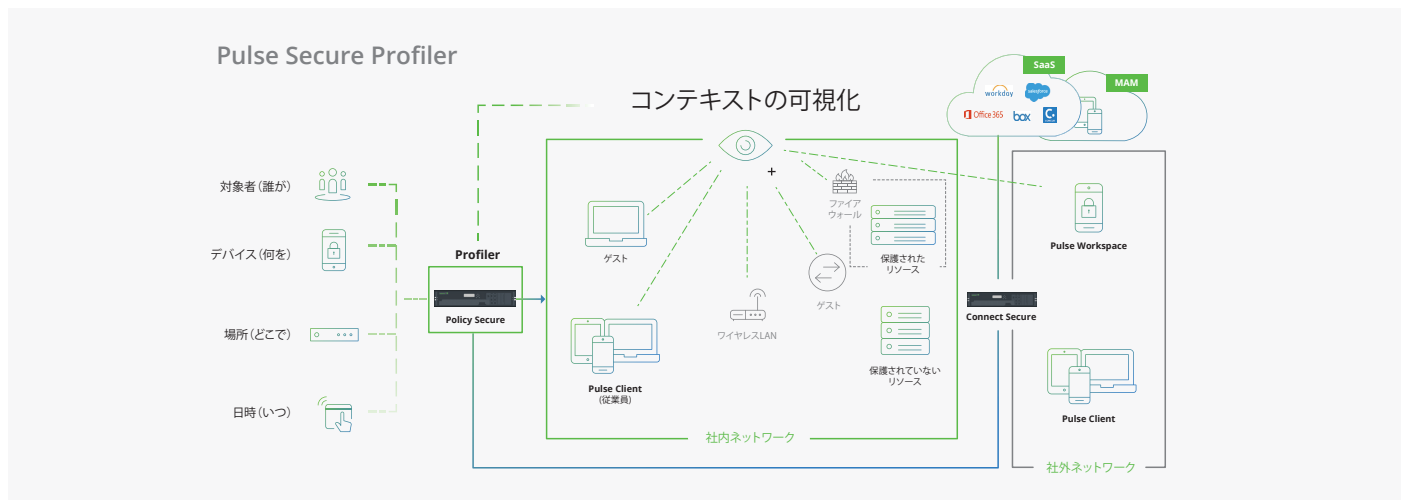
ネットワーク上で何が稼働しているか？以前は簡単に分かりましたが、現在はデータセンターとアプリケーションがその答えを複雑にしています。というのは、アプリケーションは Office365やBoxなどのクラウドサービスもあれば、データセンターにも従来のアプリケーションがあります。一方ユーザーは24時間365日、ラップトップ、スマートフォン、キオスクのブラウザなど、あらゆるプラットフォームからリソースに接続してきます。BYOD、ゲスト契約社員、Wi-Fi対応機なども、最近のネットワークセキュリティ上、考慮しなければならない課題の一部です。これらの課題にどのように対処するか？すべては、企業ネットワークを可視化する Pulse Profilerから始まります。

可視化の主なメリット

- ネットワークの使用状況とリスクの洗い出し
- セキュリティポリシーを適用する対象リストの作成
- コンプライアンス監査へ向けての準備
- 例外/インシデントの事前検知と調査

Pulse Profiler – Pulse Policy Secureが提供する機能

Pulse Policy Secureを使用すれば、ネットワーク管理者は、データセンターとクラウドに接続するすべてのLAN接続のエンドポイント及びリモートエンドポイントの場所と種類を検出し、追跡します。



Pulse Profiler のその他のメリット

- エンドポイントのデバイスのプロファイリング情報を収集し、ネットワークデバイスの動的、コンテキストインベントリを保持する
- 802.1xベースのインフラストラクチャの展開と管理を容易にする
- デバイスの識別と認証を自動化し、管理タスクを容易にすることで、Pulse Policy Secure 展開を簡潔化する
- ポートスワッピング、MACアドレスのなりすまし、およびプロファイル変更など、デバイスの動作異常を監視・管理する
- プリンタやIP電話などの非認証デバイスを含む、企業が保有するすべてのエンドポイントを保護する
- アセット管理、トラブルシューティング、可視性向上を目的とするデバイスインベントリを使用する

**Pulse Profiler を今すぐ試して、
以下のデバイスに関するクイックレポートを入手してください。**

- オペレーティングシステムチャート
- カテゴリチャート
- ベンダーチャート
- プロファイル変更レポート

企業ネットワークの可視化についての詳細と、現在のネットワーク状況を確認するには、Pulse Profilerのアセスメントレポートを取り扱うパルスセキュアのパートナー各社にお問い合わせください。